



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多様な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

# みんな おいで～



谷戸に一步入ると、シュレーゲルアオガエルの声  
がこだまし、周囲の林からはウグイスのさえずりも  
響いてきます。春の訪れを乗り越えて、すでに初夏  
の陽気です。うかうかとしてはいられません。多くの  
新しい会員を迎えて、野良仕事に精を出しましょう。

## お知らせ

**総会 6/3(日)14時～**

鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室  
懇親会 (15時～16時) ご参加下さい。

### (公財)イオン環境財団助成決定

(公財)イオン環境財団より環境活動助成事業として谷戸塾が採択されました。生物多様性の保全活動に助成されるもので、今年で5回目になります。

### 体験学習予定

深沢小学校 5年 富士塚小学校 5年  
小坂小 5年、3年 教育支援教室ひだまり

### ホタルの紙芝居を読んでもくださる ボランティアの方募集!



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが生息しています。ホタルを觀賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

日時：6/2・16・7/7・14 18:30～20:30

**閉園時間帯につき駐車場は利用できません**

集合場所：山崎口ししいし前のベンチ

お申し込み＆お問い合わせは事務局まで  
電話 or Fax or メールにて

●湿地復元をしている4つの場所

湿地の水たまりを維持するために、毎年、4つの場所（小さな池）で湿地復元作業をしています。前回説明した「湿地内部の水たまり」よりも大きく目立つ場所にあるので、子どもたちの自然体験の場としても利用されています。生態系保全からは「擬似田んぼ」として、また体験学習の場としても重要です。4つの場所は各々由来や特徴に違いがあります。

1. しいし裏の湿地（休耕田）

1997年まで田んぼだった場所です。休耕田のように、水面が見えて「田んぼ雑草」が生えている状態を維持することが目的です。子どもたちの遊び場所でもありますが、石や枝を投げ込まれていることもあります。夏は干上がることがあるので、上流側の湿地（ザリガニ池）から水を導入しています。

2. 通称「ザリガニ池」

「しいし裏の湿地」から道路を隔てた場所です。湿地の排水マスの周辺を、アシを除去して小さな水溜りにしています。水面が見えるようにすることで、子どもたちが水辺の生きものと触れ合える場所です。「しいし裏の湿地」へ水を導入するための流路を確保する意味でも手入れが必要です。周辺の湿地内部を流れる水路の草を抜き、掘り直すなど手入れをしています。

3. 農家風休憩舎脇の湿地（水たまり）

1986年ごろは湿地の水溜りで、当時、湿地復元をしたところ、スキー板やペンキの缶など粗大ゴミが大量に埋められていました。水が溜まるようにすることで、田んぼから流れてきた生きものが、この湿地に滞留して生き残れるようにしています。最近、湿地の一角でヘイケボタルが増えてきました。外来種のオオフサモが繁茂して水面がなくなってしまうことや、水路（体験広場の北側を流れる水路から導入）が埋まりやすいので、手入れが必要です。

4. 田んぼの先の湿地（水たまり）

公園整備の際、谷戸を横断する園路が造成されたので、田んぼの先(東谷沖)の湿地と田んぼが道路で分断されてしまいました。横断道路の上流側に湿地の水が溜まりやすくなって、水溜りのようになっています。泥が深く、ひざの上まで浸かります。放任すれば、ガマやアシが茂り、より一層、ヘドロも溜まりやすくなります。年に一度でも手入れをすることで、湿地（水たまり）に流れができ、ヘドロが少しずつ流れていきます。またホトケドジョウなどの生きものが生息できるようになります。

次回は、まとめとして湿地の手入れと生きものについて考えてみます。

谷戸往来

寄付をいただきました

2017年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸の保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。早乙女千博 安田紀代子 齋藤眞子 磯尾佳代子 黒谷秀夫 角田照司・真里 熊田正義 岡村哲雄 端山啓子 高田城・節子 西山忠治（敬称略）

六国見山の間伐材を利用



3/18(日)六国見山森林公園にて、当地で活動する北鎌倉湧水ネットワークと協働で間伐作業を行い、(公財)鎌倉市公園協会の協力を得て谷戸まで運搬しました。刈った稲を干す「はさ」として利用します。

オリエンテーション 4/15

大嵐の後、晴れ間も出るお天気となり、たくさんの方々にお集まりいただきました。(公財)鎌倉市公園協会森屋課長の挨拶と各班のリーダー自己紹介を行い、新緑の中、谷戸を散策しました。



## 各班のお知らせ

### 田んぼ班



寒い冬が過ぎて一気に初夏の陽気です。開花や芽吹きは例年より早いようです。でも田んぼの作業は、計画したこよみどおりで進めるしかありません。6月初めの田植えに向けて作業は目白押しです。



4/14 種籾蒔き

### 畑班



夏を目前に5月には大麦、小麦の刈り取り、6月にはじゃがいも掘りが、その間さつまいもの苗植え、たのくろ豆の種蒔きと次の収穫への準備もあり、畑作業は目白押しです。雑草取りも欠かせません。

### 雑木林管理班



今年もみごとなハナモモの花が咲き、今シーズンの雑木林管理作業も薪作りを残すだけとなりました。これまで伐採した材を玉切りし、薪割り機で割り、積み上げて乾燥させて秋以降に使う薪を作ります。



3/4 父と子の里山体験

### 自然遊び班



「父と子の里山体験 竹でお椀と箸作り」に、9家族26名の親子が参加し、竹林で材料の竹を伐り倒して広場に運び、親子で協力しながら鋸で竹を切り、大小さまざま個性あふれるお椀や箸を作りました。

### 植物育成班



生態系班と連携し今年も活動していきます。ヒメオドリコソウなどの帰化植物やツル植物の除去、貴重な野草の調査、保護をしながら、野草を見る目を育てていきたいと思えます。

### 農芸班



例年より梅の実りが早まる予感。初夏の風を感じはじめる6月に収穫して、今年度の梅仕事スタートです。梅干し作りは3工程あり、下漬け→赤ジソ仕込み(7月)→天日干し(8月)の順で行います。

### 生態系保全班



手入れした湿地は元気なアシが育ち、カヤネズミが増え、整備した池にはオタマジャクシが育っています。生きものの目線になり手を加え続けていくことが大切だと感じています。



イタドリハムシ

## 5月

- 5日 (土・祝) 田 田うない ☆  
 6日 (日) 田 畔草刈り・苗床草取り ♣  
 雑 薪作り ♣  
 9日 (水) 畑 畑の整備  
 生 初夏のチョウの調査  
 12日 (土) 田 くらっけ  
 13日 (日) 田 くらっけ  
 自 里山探検隊  
 20日 (日) 田 くらっけ ☆  
 畑 大麦の刈り取り ♣  
 試食の日  
 23日 (水) 植 クズの除去作業  
 26日 (土) 田 しろかき  
 27日 (日) 田 しろかき ☆  
 畑 さつまいも苗植え ♣  
 30日 (水) 畑 小麦の収穫 ☆

## 6月

- 2日 (土) 田 田植え ♣  
 生 夜の自然観察 ♣  
 青空自主保育やんちゃお 保全活動  
 3日 (日) 田 田植え ☆  
 畑 畑の整備  
 総会 管理棟2階 14時～  
 6日 (水) 生 梅雨時のチョウの調査  
 9日 (土) 田 苗取り・田植え・紐張り  
 10日 (日) 田 田植え ♣  
 畑 さつまいもの苗植え ☆  
 試食の日  
 13日 (水) 植 野草生育地の手入れ作業  
 農 梅干し作り (梅収穫・下漬け) ♣  
 16日 (土) 生 夜の自然観察 ♣  
 17日 (日) 田 田の草取り・補植  
 畑 たのくろ豆の種蒔き ♣  
 雑 土手の手入れ ♣  
 自 里山探検隊  
 20日 (水) 畑 小麦の脱穀 ☆  
 24日 (日) 田 田の草取り  
 畑 じゃがいも掘り ♣  
 雑 鎌を研いで草刈り ☆  
 青空自主保育なかよし会 保全活動

## 7月

- 1日 (日) 田 田の草取り・苗床片付け ☆  
 畑 さといも土寄せ  
 雑 土手の手入れ ☆  
 青空自主保育にこにこ会 保全活動  
 4日 (水) 植 田の植物観察  
 7日 (土) 生 夜の自然観察 ♣  
 8日 (日) 田 田の草取り  
 雑 土手保全のための草刈り ♣  
 14日 (土) 生 夜の自然観察 ♣  
 15日 (日) 田 田の草取り ♣  
 畑 さといもの草取り ♣  
 雑 下草刈り ☆  
 自 こども里山一日体験「竹であそぼう」▷  
 16日 (月・祝) 田 田の草取り  
 18日 (水) 農 梅干し作り (天日干し) ♣  
 22日 (日) 田 田の草取り ♣  
 雑 土手の草刈り  
 生 夏の昆虫観察 ♣  
 25日 (水) 畑 さつまいものつる返し ☆  
 畑の整備  
 生 水路の生き物の観察  
 講座「谷戸の生きもの」 ☆  
 29日 (日) 田 土手草刈り・田の草取り ☆  
 雑 雑木林の下草刈り ♣

田：田んぼ班      畑：畑班  
 雑：雑木林管理班      農：農芸班  
 自：自然遊び班      生：生態系保全班  
 植：植物育成班



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時

ホームページ：http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp

Eメールアドレス：[ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)

● 次号 (会報86号) は、2018年7月に発行予定

☆ 谷戸塾      ♣ 一日里山体験 (要予約)

▷ 会員以外の方、参加費500円

夜の自然観察 18時半～20時半 山崎口しいし前ベンチに集合

※ 里山探検隊は、定員に達しましたので、申し込みを締め切りました。